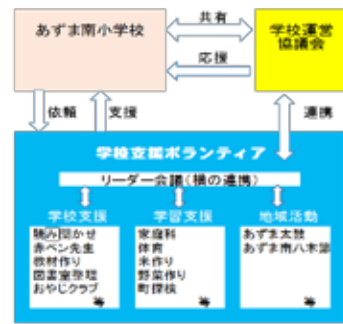


# チーム・みなみ ー学校の応援団としてー

群馬県伊勢崎市	● 活動名	● 関係する学校名
	あずま南小学校学校運営協議会	伊勢崎市立あずま南小学校

設置年度	平成 25 年度	学級数	23 学級	児童・生徒数	615 人
学校運営協議会の委員数	12 人	学校運営協議員の属性	PTA 会長・保護者・区長代表・区長 市教育委員・大学教授・会社経営者 公民館長・放課後児童クラブ経営者 主任児童委員・農業従事者・校長		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	有				
参考 URL	http://www.isesaki-school.ed.jp/azumaminamisyo/				

● 体制図



● 連絡先	伊勢崎市立あずま南小学校	☎ 0270-62-0132
-------	--------------	----------------

- 活動の概要・経緯
- ・学校支援ボランティアが学校の様々な場面で活躍している。活動は、読み聞かせ、赤ペン先生、おやじクラブ、教材作り、安全パトロール等、12種類に150名（平成29年度）が登録している。また、各学年、学級ごとに習字、図工、家庭科、体育等、授業で必要な時に随時募集もしている。平成28年度には、延べ10,195人のボランティアが活動した。
  - ・平成25年度にコミュニティ・スクールの指定を受けて、学校運営協議会を設置した。学校運営協議会を中核に、目標を共有して運営を行い、子供たちのよりよい成長を願い、家庭や地域社会、関係機関との連携を密にして、協働体制で教育の充実に努めている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- ・読み聞かせ、赤ペン先生、教材づくり、安全パトロール等、学校支援ボランティアの支援により、教育活動の充実が図られている。特に、教材づくりボランティアの支援により、教職員の教材づくりの負担が軽減され、子供と関わる時間の確保につながっている
- ・地域から出ていた「あずま南小区に共通した踊りを作成してほしい」との要望の実現に向けて、あずま南八木節を制作し、地域住民の指導の下、運動会のプログラムとして全校で踊ることができるようになった。このように、地域と連携した体験活動の推進が図られている。
- ・米づくり、野菜づくり、餅つき、感謝の集い、スポーツ教室など地域の教育力を活用した体験学習を通し、ふるさとを愛する心を育てている。
- ・学校運営協議会では、区長、民生児童委員、交通指導員、青少推委員が出席する地区懇談会で話題になった内容も取り上げている。例えば、「月曜日をすっきり迎えられるように」や「親子の会話」について学校運営協議会の立場から保護者や地域に発信したり、通学路の安全確保として冠水対策を市に陳情したりした。

### 【実施にあたっての工夫】

- ・夏季休業日に行う学校運営協議会には教職員も参加している。教職員の生の気持ちをくみ取り、要望の実現に向けた協議をしたり、保護者への要望を学校運営協議会の立場から発信したりしている。
- ・各ボランティアリーダーによるリーダー会議を年2回行い、それぞれのボランティア活動の報告や課題等を話し合っている。
- ・学校運営協議会委員と学校支援ボランティアを兼ねている委員があり、学校支援活動での課題等も学校運営協議会で協議し、ボランティアの活用等の提案をしている。
- ・12月の「学校公開日」に読み聞かせや赤ペン先生などのボランティア活動を公開し、地域や保護者から、理解と協力を得られるようにしている。
- ・地域人材を活用した夏休み勉強塾の実施や地域と連携した伝統文化の体験、伝承活動を創設することで、児童に地域行事への積極的な参加を促し地域の子育て基盤づくりに努めている。
- ・本年度から校務支援員が地域連携担当として、教頭、教務の指示のもと、地域との窓口となっている。学校支援ボランティアの取組を撮影しタイムリーに廊下に掲示して、来校者が活動の内容を見て分かるようにしている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- ・2月に行う感謝の会に学校支援ボランティアを招待し、全校児童で感謝の気持ちを表している。子供たちの「ありがとう」という言葉が嬉しくて活動の継続を希望するボランティアもたくさんいる。子供が卒業しても活動を継続しているボランティアも多く、継続的な学校支援体制の充実に繋がっている。
- ・長年継続している中で、学校がすべての準備をして行う活動ではなくて、ボランティアの自主的な活動も目立っている。また、あずま南八木節や和太鼓教室なども、地域の要望に応え、行うことができるようになった。
- ・地域と学校のつながりが確実に深まっている。地域が学校運営協議会を中心として「学校の応援団」という姿勢を持って活動しているため、授業の質が向上し、体験活動が充実したものになっている。

## ● その他

- ・教材づくりスマイルサポーターは、授業で活用する教材の作成やプリントの印刷を行っている。
- ・赤ペン先生は、昼休み後の補習時間（パワーアップタイム）における丸付け指導を行っている。



教材づくりスマイルサポーター



学校職員と学校運営協議会委員との情報交換